

ステークホルダーエンゲージメント

社会課題解決を基本とした事業運営に向けては、多様なステークホルダーの期待や要望を適切に把握・反映することを重視し、持続的な競争力および企業としてのレジリエンス(強靭性)の創出を図るとともに、信頼関係の構築に努めています。

ステークホルダーエンゲージメント^{*1}は、さまざまなステークホルダーの皆様とエプソンを結ぶ重要な架け橋です。エプソンは、全てのステークホルダーの皆様に以下の3つの価値を提供します。

社会価値

社会課題解決と
精神的・文化的豊かさ

環境価値

地球環境と産業の共生

経済価値

安定的な経済的付加価値の
再配分

また、社会支援活動については以下の3つの基本的な考え方に基づき、環境、教育・文化、生活・地域を重点活動分野として実施します。

- SDGs達成に貢献します
- 持続可能でこころ豊かな社会の実現を目指します
- 世界の各地域に根差した活動を展開します

ステークホルダーエンゲージメントの目的

NGO/NPO、国際機関

関

持続性を伴う社会支援
(Value Share活動)

ビジネスパートナー/ コンソーシアム

社会課題解決につながる
持続的な社会価値の共創

従業員

働きがいのある職場環境
の構築



お客様

お客様に喜ばれ信頼される商品・サービスの創出

株主・投資家

適切な事業運営や投資判断につながる良好なコミュニケーション構築

地域社会

世界各地でそれぞれの地域社会に根ざした活動を通じて、社会との共生を進める

サプライヤー

公平公正・共存共栄を基本にした、相互信頼に基づく良きパートナーの関係構築

*1 企業とステークホルダーの対話。企業が活動や意思決定を行う上で、ステークホルダーの関心事項を理解するために行われる取り組みを指します。

株主・投資家 ➔



適切な事業運営や投資判断につながる良好なコミュニケーションを構築を目指し、積極的に機関投資家や個人株主との対話を実施します。さらに市場要請に応じた情報の公開や対話手段の強化を行います。

主な取り組み

投資家情報 ➔

SRI(社会的責任投資)インデックスへの組み入れ状況・格付け ➔

お客様 ➔



お客様に喜ばれ信頼される商品・サービスの創出はもちろん、さらなる改善に向けお客様とのコミュニケーション強化や共同活動による価値創造に挑戦します。

主な取り組み

お客様満足 ➔

品質向上 ➔

製品安全 ➔

サプライヤー



サプライヤーは、経営理念実現のための重要なパートナーであり、信頼関係を構築することにより、共存共栄を目指しています。

主要拠点がある長野県や海外の主要生産拠点では、毎年サプライヤーの皆様に事業方針や調達方針などを共有する説明会を開催しています。また説明会では、経営層がサプライヤーの皆様の声を直接聴き、相互理解を深めることで、連携強化を図っています。

サプライヤーの評価も毎年実施し、改善活動を支援することで、社会的責任の遂行につなげています。

主な取り組み

コミュニケーション&教育 ➔

サプライヤーガイドライン ➔

CSR調達の取り組み ➔

責任ある鉱物調達 ➔

従業員



企業経営を支える従業員がいきいきと活発に働く環境を目指し、組織風土改革を進めます。

- 風通しの良い自由闊達なコミュニケーションに向けた対話会
- 組織風土アセスメント、こころの健康診断
- 社長メッセージの配信と従業員からの意見・感想の収集

主な取り組み

労使関係 ➔

ビジネスパートナー/ コンソーシアム ➔



社会課題を解決し、持続可能な社会を実現するには、それぞれ得意分野を持ったパートナーとの連携が欠かせません。これまで以上に共創活動を強化し、広くパートナーシップを構築します。

- パラレジンコンソーシアム
- スマートシティ会津若松
- 北九州イノベーション拠点
- 東京渋谷ポイント0オープンプラットフォーム
- 信州大学(小型規模循環型リビングイノベーション)など

主な取り組み

ビジネスパートナー/コンソーシアム ➔

地域社会 →



従来の単なる寄付や支援だけでなく、世界の地域や団体と連携し、持続的な共存につながる活動を続けます。

- トビタテジャパン留学生支援、セイジ・オザワ松本フェスティバル、美術館支援、写真コンクール
- 松本山雅FC、地域清掃、祭り、諏訪湖花火
- エプソン国際奨学財団、エプソン情報専門学校運営を通じた学生支援、地域人材の育成

主な取り組み

[社会貢献活動の考え方 →](#)

[地域住民との意見交換会 →](#)

NGO/NPO、国際機関 →



持続性を伴う社会貢献を目指し各種団体との価値創造活動をグローバルに展開します。

- 野鳥の会、植林、珊瑚移植、児童への環境教育、インクカートリッジ共同回収
- ゆめ水族園、献血、障がい者スポーツ支援(知的・身体)、各地域病院支援

主な取り組み

[NGO/NPO、国際機関 →](#)

[ESGデータ →](#)

[スタンダード対照表 →](#)

[サステナビリティレポート →](#)

[統合レポート →](#)

NGO/NPO、国際機関



NGO/NPO、国際機関

- 持続性を伴う社会支援(Value Share活動) -

トンガ/JICA:バナナペーパー活用(廃棄される資源を財源に)

活動内容

エプソンは、独立行政法人国際協力機構(JICA)の青年海外協力隊員たちが企画したオリジナル絵本を届ける活動に感銘し、マイクロビーゴ技術を活用して印刷、製本する無償協力を実施しました。完成した絵本は、JICAおよびトンガ大使館を通じて、7月上旬にトンガ王国の学校に配布され、SDGsに関する教材として使用されています。また、絵本の紙に採用したバナナペーパーの調達先を通じて、紙の購入金額の1%が自然環境保護団体に寄付されます。エプソンは、今後も人々の想いに寄り添い、夢をカタチにしていきます。

協働パートナー

- JICA駒ヶ根訓練所 トンガ隊員
- トンガ大使館
- One Planet Café
- エプソンミズベ(株)
- セイコーエプソン(株)

具体的な活動

- SDGs視点からのトンガオリジナル絵本の制作
- 日本政府／トンガ王国との連携
- 印刷メディアのバナナペーパー提供
- インクジェットプリンターによる印刷
- 全体企画とコーディネート

解決する社会課題と価値

具体的な活動・アプローチ

JICAトンガ隊員たちと一緒に議論を重ねる中、印刷を行うハード面の取り組みのみならず、廃棄物が価値を生むものづくりまで想いが及び、バナナの生産量より10倍多く廃棄されるバナナの木(実際は茎)の繊維を利用して作成されたバナナペーパーやオフィスで使用された古紙を再生した紙(当社乾式オフィス製紙機PaperLabで作成)を採用することでアフリカ地域を含む循環型社会の実現に貢献。



価値提供ポイント

- JICA海外協力隊員たちの想いをカタチにすることづくり
- 自社保有の印刷・紙再生技術を活用したSDGs教育コンテンツの提供
- バナナペーパーの調達先を通じて購入金額の1%を環境保全団体に寄付

メキシコ／Bee2Be：絶滅危惧動物保護と経済活動

活動内容

NPOのBee2Be(メキシコ)が始めたメリポナ蜂という絶滅危惧種を保護する活動を支援しています。蜂を保護する活動の財源として、蜂蜜などの販売に加え、デザイナー(Anna Fusoni氏)と連携して蜂をモチーフとしたデザインのスカーフなどを製作・販売し、周知活動にもつなげています。また、この活動は現地の女性たちによって支えられており、雇用の確保にもつながっています。

エプソンはスカーフなどの製作をデジタルプリント技術で支え、現地住民やNPOの継続的な収入の創出に貢献しています。

協働パートナー

- Bee2Be(NPO)
- Anna Fusoni氏(デザイナー)
- 地元の女性
- Epson de Mexico, S.A. de C.V.

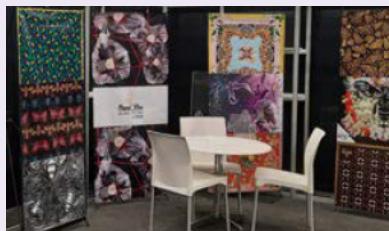
具体的な活動

- 絶滅危惧種(メリポナ蜂)の保護活動と財源確保、雇用拡大に向けた活動主催
- 蜂をモチーフにしたスカーフなどのデザイン
- 現地での保護活動および物品販売、現地ガイド
- スカーフなどをデジタル印刷するプリンターの提供と技術支援

解決する社会課題と価値

具体的な活動・アプローチ

財源や人員が不足する希少生物保護活動に対し、デザイナーなどとの連携により新たな価値を提供することで、周知活動と財源の確保を行うと共に現地メンバーの雇用、さらには新たな働き方の創出を行っている。



価値提供ポイント

- 収益を伴う持続的な保護活動の実現
- 蜂をモチーフにしたデザインのスカーフなど、物品販売による新たなビジネスモデル創出
- 雇用確保と新たな働き方の提供

ビジネスパートナー/コンソーシアム



ビジネスパートナーと連携した価値提供

- 社会課題解決につながる持続的な社会価値の共創 -

日本／協働的な学びを通して創造力と自信を育むアプリケーション「プログラマッピング」の開発

活動内容

エプソン販売と株式会社ユニティは若年層学生に向け、デジタル人材の育成に貢献するアプリケーションを共同開発しました。

このアプリケーションは、文科省が学習指導要綱で求める「資質・能力の育成」に向けた「主体的・対話的な深い学び」に繋がる授業改善への有効な手段と考えています。これまでのプログラミング授業では、論理的な思考を育むことはできますが、主体的・対話的な学習の実現に繋がなかったという課題の解決に対応します。共同開発した「プログラマッピング」は、直感的な操作によるプログラミングで、プロジェクトマッピング映像を作ることができ、作品づくりを通して、発想力と想像力を刺激しながら子供たちの創造力などを育むことができるアプリケーションです。



協働パートナー

- 株式会社ユニティ
- 放送大学
- 教育委員会

具体的な活動

- 「プログラマッピング」の共同開発
- 柏市立大津ヶ丘第一小学校との実践授業
- プログラマッピングのWebサイト構築と先生方への指導案の配布
- 教育メディアの露出拡大による教育現場への認知度向上

解決する社会課題と価値

具体的な活動・アプローチ

創造したことをすぐに投影しながら、多くの生徒と議論する事で、協働しながら学べるので、論理思考だけでなく、これまで難しかった主体的・対話的で深い学びに繋がるような授業が実現できる





パートナー企業メッセージ

株式会社ユニティ

取締役営業本部長

扇舎 洋文 様

子どもたちの豊富なアイディアが「プログラミング思考」+「表現と制作の活動」を通してオリジナリティあふれるプロジェクトマッピングを生み出す世界を創るために、エプソン販売様と協働して「プログラマッピング」を開発しました。
知育・教育アプリケーションあそんでまなぶ！シリーズの開発で得られた子どもたちにとって使いやすいインターフェースやデザインなども子どもたちに受け入れられた要因と感じています。

日本／Z世代とのコミュニケーションイベント開催

2023年8月22-23日、Z世代とのコミュニケーションを目的に、nest(SB Japan youth community)のメンバーをお招きし、コミュニケーションイベントを行いました。

nestとは、16～25歳の若者が、社会課題の本質やビジネスを起点としたソーシャルアクションについて、仲間と共に学び・考え・発信していくコミュニティです。

[nestについて詳しくはこちら](#)

当社はサステナビリティ経営を推進する上で、多様なステークホルダーとの対話を重視しています。Z世代も重要なステークホルダーの一つと位置付けており、nestメンバーを本社(諏訪市)や富士見事業所(富士見町)にお招きし、2日間にわたって企業の歴史や最新のソリューションに直接触れて頂きながら、さまざまな職場の従業員との対話を行いました。

テーマは企業イメージ、求める未来像、ダイバーシティなど多岐にわたりましたが、いずれもZ世代らしい新鮮な視点で、かつ鋭く本質を突くコメントも積極的に上がり、双方ともに気づきに繋がる価値ある意見交換が出来ました。

こうした対話が、将来の企業のあり方や価値創出に良い影響を及ぼす事を目指すと共に、将来を担うZ世代のメンバーにも多少なりとも影響を与える価値のある機会であったことを願っています。

当社は従来のステークホルダーの考え方と離れて、多様な職種、立場の方々と積極的に対話・連携する事で、持続可能な社会のために価値提供を続けられる企業を目指します。



エプソンでは創業の志や歴史を紹介する記念館、また最先端の技術に触れて頂けるソリューションセンターなどの見学施設を用意しています。

こうした施設は学びの場として教育活動に貢献するだけでなく、新たな繋がりや価値を創出するためのエンゲージメントの場としても活用されています。

[エプソンの見学施設の詳細はこちら](#)



国際コンソーシアムとの連携

- 社会課題解決につながる持続的な社会価値の共創 -

CSRヨーロッパ

欧州におけるサステナビリティ活動に参画

CSRヨーロッパは、欧州委員会(European Commission:EC)のルールづくりに対する提言を行う団体で、企業や自治体、NGOなどのCSR活動を支援する、欧州有数のビジネスネットワークです。Epson Europe B.V.は、2017年9月にCSRヨーロッパに参加しました。以後、Epson Europe B.V.は、業界でのネットワーク構築およびサステナビリティに関するルールづくりに参加し、持続可能な社会の実現と企業の永続的な発展の両立に役立てています。



[ホーム > サステナビリティ > ステークホルダーエンゲージメント > ビジネスパートナー/コンソーシアム](#)

株主・投資家



株主・投資家との対話

- 適切な投資判断を促し、経営の質向上につなげる -

IR活動・SR活動の方針・考え方

エプソンは、持続的な成長と中長期的な企業価値の向上を実現するためには、あらゆるステークホルダーとの誠実な対話を通じ、経営の透明性を高め、長期視点での信頼関係・パートナーシップを構築し、強化していくことが、重要かつ不可欠であると認識しています。その取り組みの一環として、株主・投資家等に対する情報開示方針を明確にして、IR活動やSR活動の更なる充実を図り、建設的な対話を実施しています。

株主・投資家等との対話は、代表取締役社長、IR・SR担当役員、またはIR・SR担当部門の管理職等が行うことを基本とし、社外取締役を含む取締役も合理的な範囲で対応しています。対話を通して株主・投資家の皆様からいただいたご意見を都度経営層にフィードバックし、経営の質を高める取り組みに活かしています。

私たちが直接お会いできる株主・投資家の皆様の数は限られていますが、より多くの方に当社の考えを伝えるべく冊子やWebサイトなど、ツールを通じたコミュニケーションを積極的に行っています。特に、多くの方々に、同時に情報を伝えられるWebサイトの作成には力を入れ、IR情報だけでなく、サステナビリティ情報も常に最新の情報に更新しています。

アナリスト・機関投資家向けミーティング実績

2024年度実績

総ミーティング回数 **248回**

▶ 国内 **136回** ▶ 海外 **112回**

	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度
国内	135 回	142 回	134 回	136 回
うちSR面談	6回	18回	18回	9回
海外	104 回	127 回	121回	112回
合計	239 回	269 回	255 回	248 回

IR基本カレンダー



他のIR関連活動実施内容

- IR・サステナビリティ関連ツールの改善・情報充実検討
- 株主総会関連書類の早期開示、記載充実
- 開示資料の英訳による海外投資家への情報提供
- サステナビリティウェブサイトの更新・内容充実
- コーポレートガバナンス・コードへの対応と対応内容の開示

2024年度のエンゲージメント活動

エプソンへの理解を深めていただくための取り組み

グローバルの機関投資家にはエプソンの事業に対する認知が十分にされていないのが現状です。

多くの投資家の皆さんにエプソンへの理解を深めていただくために、企業Webサイトの改善に取り組んでいます。これまで、決算発表資料や事業戦略説明会資料、各種データの掲載を行っていましたが、新たに、エプソンの概要を分かりやすく紹介する特集コーナーを開設しました。この特集コーナー「[5分で分かるエプソン](#)」では、事業別構成や各事業の競争力、市場におけるポジションなどを簡潔にご紹介しています。

今後も、幅広い関心を持つ投資家の皆さんにエプソンをより深くご理解いただけるよう、情報発信の充実に努めてまいります。

エプソンの企業価値向上を目指した対話

前年度(2023年度)の対話や社会動向から得られた課題に対して経営改善を行い、以下をはじめ、その進捗を統合レポート2024などで開示しています。

統合レポート2023をもとにした対話での示唆を受け、下記項目の開示を強化いたしました。

- GHG削減貢献量の算定と開示
- DXの進捗
- 経営戦略と連動した人材戦略
- 人権の取り組みの開示強化

統合レポートなどの開示情報に基づいて、2024年度に株主・投資家の皆様と対話した結果、これまでの経営改善に向けた取り組みへの評価と、さらなる改善に向けた貴重なご意見をいただきました。

- 環境への取り組み
- DXの進捗
- 人材戦略

対話結果は、サステナビリティ戦略会議および取締役会で報告し、さらなる経営改善に活かしています。さらに、決算発表に対する資本市場の反応を経営会議で報告し、また、決算発表後に株主・投資家の皆様から直接いただくご意見やご要望も週報などで社内共有することで、投資家の関心事項や懸念点への理解を進め、事業活動や開示向上に向けた取り組みの参考にしています。

お客様



お客様と連携した価値創造

- お客様に喜ばれ信頼される商品・サービスの創出 -

阪急阪神百貨店様／捺染とプロジェクトで売場やイベントを革新

デジタルが可能にした新しい顧客価値の創造

阪急阪神百貨店様(小売)とデジナ様(捺染業、呉服製造・販売)と連携して開催したイベント「KIMONOクリエイション」で、エプソンのデジタル捺染とプロジェクトを活用。一般公募で選出された浴衣デザインをオーダーメードで印刷。個性あふれる浴衣デザインをバーチャル展示することで、展示サンプルの数を抑え省資源な売場を実現しました。

またクリエーターがデザイン作品を1点から実際に創れる喜び、多彩なデザインの中からお客様がデザインを選べるお買い物の楽しみを、エプソンのデジタル技術が可能にし、販売につなげることができた事例です。



立ち止まっていただく

株式会社 阪急阪神百貨店
インターナショナルファッショングループ
呉服営業部
マネージャー
山本 英信 様

小売店ではお客様に立ち止まつていただくことが重要です。VP(Visual Presentation)といわれる、小売店においては定石となる、この立ち止まる行為において、プロジェクトの効果は抜群です。また、プロジェクトは売場で魅せる効果だけでなく、展示における廃棄物を削減するという環境面での効果もあります。

また、デジタル捺染という技術は近年縮小が続いている呉服業界に、新たな製品カテゴリーや価値をもたらす可能性がある技術として期待しています。

店舗・売場づくりの新たな形



今回の売場展示でプロジェクションを利用した背景には、イベントや店舗・売場づくりによって廃棄される多くの資源を少しでも削減したいという主催者様の思いを反映しています。

このイベントでは、入賞作品6点を1着ずつエプソンのデジタル捺染機で印刷した浴衣を展示、また応募いただいた約90点の中からもお客様がデザインを選んで購入できるよう、左記の通り浴衣デザインをプロジェクションマッピングで展示しました。このように、売れ残りを無くし、限られたスペースで効果的に空間演出できるよう、お客様の要望や、将来の展示のあり方を共に検討し、売場における新たなコミュニケーションの形を実現しました。

こうした取り組みは、店舗装飾や、アパレルのデザインから商品化、販売における新たなスタイルと価値を生み出すことにつながる大切な活動です。

対話と創出活動

デジタル印刷やプロジェクションはこれまでオフィス中心だった用途が急拡大し、今まで思いもよらなかった用途が次々に生まれています。

私たちエプソンは、こうした無限の可能性を見出だすため、これまで以上にお客様やビジネスパートナー様との対話を大切にしています。今回の阪急阪神百貨店様、デジナ様との連携もこうしたお互いの想いを正直に語り、真摯に受け止めて検討するという地道な活動が具現化したものです。

デジタル社会においては、新たな価値創出がふとしたり思い付きで生まれ、瞬く間に新たなビジネスモデルや市場が創出されることは珍しいことではありません。目まぐるしく変化する時代だからこそ、お客様やパートナー様の想いに耳を傾け、より良いモノづくりや、新たな文化の創出を続けたいと思います。



世界はもっと
拡がる
株式会社デジナ
居内 久勝 様

簡単に募集したイベントですが、100点近い応募がすぐに集まりました。デジタルで繋がると、今回のような創出活動も今までの常識を超えて拡がることを改めて認識しました。こうした活動にはもっと大きな可能性があることも実感出来たので、少しずつですが更に活動の範囲を広げるような取り組みをしたいと思います。デジタルとの連携で今や貴重な財産である職人を守るような活動や、伝統の技をデジタルプラットフォームに残して後世に繋げるような活動も出来ると思います。

地域社会



地域社会との連携

- 各地域の課題解決につながる価値創造 -

アフリカ/TICAD9において、セネガル政府やアフリカ民間企業と4件のMOUを締結

セイコーエプソン株式会社(以下 エプソン)は、8月20日から22日にパシフィコ横浜で開催された第9回アフリカ開発会議(TICAD9)において、教育・農業分野でのプロジェクトを活用した実証活動に関わる4件のMOU(基本合意書)を、セネガル政府やアフリカ民間企業と締結しました。

エプソンは、プロジェクトを主とした教育支援の知見を生かし、開発途上国における地域や社会情勢の違いによる学びの格差を緩和すべく、2022年からさまざまなパートナーとともに現地での実証活動に取り組んできました。今回締結したMOUの速やかな具現化や事業モデルの創出を通じて、今後も地域の社会課題解決と地域経済の活性化に貢献し、持続可能でこころ豊かな社会の実現に取り組んでいきます。



TICAD9署名披露式の登壇者集合写真(8月21日)

提供:日本貿易振興機構JETRO

参考

[経済産業省のニュースリリース](#)

南アフリカ/Demo centerの開放とプリント技術指導により地域産業の振興に貢献

活動内容

エプソン南アフリカは、地域社会の支援を目的として、大きな可能性を秘めた新たな活動を立ち上げました。

Retrain and Reimagineという名称が付けられたこの取り組みは、新しい技能の習得を目指す個人を支援するための新たな活動です。

南アフリカの失業率は32%を超えており、この活動によって、個人には有益な知識と経験が提供され、就業率向上や起業に繋がる事で社会に、より幅広い利益がもたらされます。

エプソン南アフリカは、現地の企業や教育機関と協力して、この活動を展開していきます。

また、南アフリカの印刷業界の連合であるPrint SAとの提携を通じて、印刷業界への就業を目指す個人が学習プログラムに参加する際の支援や補助も行う予定です

対象

具体的な活動

- 学生
- アーティスト、デザイナー
- 起業家
- ビジネスパートナー
- 教育プログラムへの協賛
- Epson Demo centerの無料開放
- サイネージ、テキスタイル、フォトプリント
- 生産プロセスのノウハウ提供

解決する社会課題と価値

具体的な活動・アプローチ

深刻な失業率に陥っている地域で、学生、起業家、芸術家に対して、プリントイングに関する技術指導や、製品創出の場の提供、生産プロセスなどの知識を提供し、就業機会拡大、新たなビジネスや製品の創出を支援しています。



価値提供ポイント

- 新たな製品や価値創出支援
- 新規ビジネス立ち上げ支援
- 技能習得による就業支援

長野県／自治体・観光施設と連携したトライアスロンの開催

活動内容

2024年6月長野県諏訪地域の自治体、商工会議所、長野県トライアスロン協会などが連携し、2回目となるスワコエイトピークストライアスロン大会2024を開催しました。エプソンはGPS・センサー技術を活用した位置情報によるアスリート一人一人の安全・安心を見守る運営を支えたことに加え、競技中のランニングフォームなどの運動解析データをレポートとして提供しています。競技タイムだけでなくアスリート同士が競い合える指標を提供することでリピートにつながる大会にするとともに、地域の魅力を高め、地域振興にもつながる活動としてさらなる発展に貢献します。



美しい諏訪湖と八ヶ岳の素晴らしさを次世代に受け

継ぐ挑戦

大会運営事務局

事務局長

小島 拓也 様

泳ぎたい諏訪湖を取り戻したい諏訪湖周2市1町、八ヶ岳をロードバイクの聖地にしたい八ヶ岳山麓3市町村、この6市町村の仲間達が繋がり実現したのが、スワコエイトピークストライアスロン大会です。美しい諏訪湖と八ヶ岳の美しさを次世代に受け継ぐために、我々は大会を継続させていきます。今後もエプソンさんと一緒に大会を盛り上げていきたいと思います。

解決する社会課題と価値

具体的な活動・アプローチ

トライアスロンにとどまらず安心してスポーツに取り組んでもらえる環境、及び上達に向けたアドバイスを提供することで幅広い年齢層に運動習慣を身につけて頂き、健康促進・生活の質向上を目指しています。

価値提供ポイント

- 選手のリアルタイムな見守りサービスの提供



- 選手の運動情報の見える化によるスキルアップ
- 最適な人員配置による運営の効率化
- 安全性・付加価値提供によりイベント自体の価値を向上し、地域振興活動を支援する

日本/地域住民との意見交換会を実施

当社およびグループ会社では、拠点を置く各地域の皆様を招いて、意見交換会を実施しています。

当社の事業、環境活動やリスク管理体制について理解を深めていただくと同時に、積極的に地域のニーズや課題をお聞きし、良好な信頼関係の構築に努めています。諏訪南事業所、富士見事業所では、毎年、長野県富士見町の町長をはじめ地域役員の方々をお招きし、見学や懇談会を行っています。

見学先として、諏訪南は環境に関わる施設、富士見では、IJSスタジオやSCF(ソリューション センター fujimi)をご覧頂き、弊社の提供する社会的な価値をご理解頂くため、実際の機械や技術の紹介をしています。

また、懇談会では地域と会社双方の発展につながる活発な意見交換を行っています。



関連情報

[環境コミュニケーション →](#)

[ホーム > サステナビリティ > ステークホルダーエンゲージメント > 地域社会](#)